

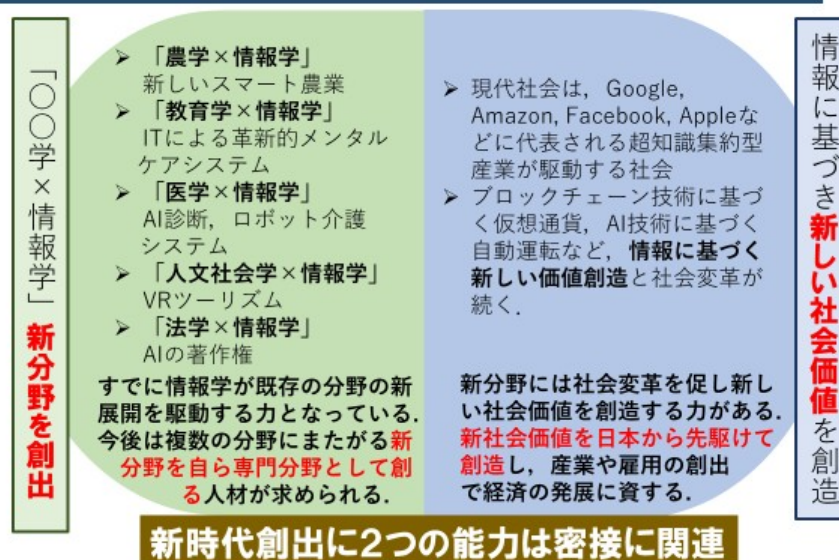
## 2021年度「知能社会国際卓越大学院プログラム」博士課程「知能社会創造フェローシップ生」募集要項

(募集説明会 4月2日(金) 17:00～ オンライン開催 <https://www.iw.i.u-tokyo.ac.jp> 参照)

### 1. 本プログラムの目標

情報系産業が主要産業化し、既存の多くの産業においても情報技術による変革が起こりつつある中、我が国では、Society 5.0 と称して、知恵が価値を生み、多様性を活力として発展するインクルーシブな社会を目指した取り組みが始まっている。これらの目標を実現するためには、諸分野と情報学の分野を融合した新しい学術分野や応用分野を創出する人材、及びそのような融合分野をはじめとする社会需要の高い分野に情報学の技術と方法論を適用して新しい価値を創造する人材が求められている。博士課程の学生がそのような人材として育ち、学術と産業を変革することが、本プログラムの究極的な目標である。

### Society5.0創出新型人材に求められる能力



### 2. 申請資格

本プログラムに博士後期課程から参加する学生は、以下をすべて満たす者とする。

- 本学大学院博士後期課程に2021年4月または2020年9月または10月に入学または進学した者。
- 本プログラムの趣旨、履修要件等のルールを十分に理解する者。
- 情報に基づき新しい社会価値の創造を目指すか、もしくは、諸分野と情報学の融合により新分野の創造を目指す者。
- 博士の学位記に本プログラムを修了したことが付記されることを了解している者。

なお、他のフェローシッププログラムおよび卓越大学院プログラムおよびリーディング大学院プログラムを重複して履修することはできないものとする。

# 教育プログラム

俯瞰力、異分野を統合する能力、リーダーシップを備え  
**新しい学術分野**を創造し**新しい社会価値**を創出する人材

## 知能社会創造プロジェクト=博士研究

学生が**室長(PI)**となる共同研究

学生自身が編成しあらゆるサポートを提供する**エンジェルチーム**

プロジェクト成果の学位論文への熟成+共同研究費獲得のアドバイス

### 創造性を誘発する新学位システム

- ・越境卓越大学院制度  
新分野を主体的に模索・創成  
情報学を軸とし**全研究科**から  
成る分野横断・融合教育体制
- ・異分野インターンシップ
- ・メジャー・マイナー学位  
「〇〇学×情報学」を具現

新教育制度と  
教育生態系の  
相乗効果

### 価値創造を促す社会一体型教育

- ・アイデアの社会実装支援  
社会実装し社会（企業）から評価
- ・在学中ベンチャー  
在学中の起業につながる活動を支援
- ・知能社会国際卓越ファンド  
教育に健全なリスクマネーが  
流入する仕組みの導入

## 3. 本プログラムの概要（上図参照）

所属専攻の専門的知識・実践力を修得・強化しつつ、本プログラムの選択科目を履修するとともに合宿等の活動に参加する。また、異分野インターンシップを遂行する。

異分野インターンシップの期間は最低3か月間とし、学外の企業、医療機関、研究所、海外の大学等において遂行する。情報学との融合により新分野の創造を目指す者は、学内の自らの専門とは異なる研究室において異分野インターンシップを行うこともできる。異分野インターンシップを遂行する前に計画書を提出し承認を得なければならない。

さらに、本プログラムの選択科目を履修するとともに、博士の学位取得に向けた研究を知能社会創造プロジェクトとして遂行する。知能社会創造プロジェクトの成果を学位論文にまとめ、本プログラム独自基準の学位審査を受け、合格すれば学位記には本プログラム修了者である旨が記載され、別途プログラム修了証も交付される。

本プログラムに採用された時点より、奨励金を支給する。

## 4. 選抜と採用期間

プログラム生の選抜は所定の申請書類に基づいて行う。

募集人数：全体で若干名だが、各教育課程の人数のバランスを図ることがある。

応募書類：(1) 所定の履修申請書、(2) 所定の応募票、(3) エレベータピッチ：研究計画などを含む約1分間の自己アピールビデオ（スライドは用いずにカメラに向かって話をする）をmp4形式で学生証番号と名前をファイル名として以下のURLにアップロード

<https://www.dropbox.com/request/da0iAiu11AvFxZiQWwVK>

提出期間：2021年4月5日（月）午前10時～4月16日（金）午後3時

提出先：記入した履修申請書および応募票は電子メールでGCL/IIW事務局に送付する。（事務局のメー

メールアドレスは本要項末尾を参照)

受付後、受付番号等を知らせるメールを事務局から送付する。締め切り後24時間経っても受付番号を知らせるメールが届かない場合、事務局に問い合わせること。

採用期間：2021年4月1日から2024年3月31日。ただし、博士後期課程に2020年9月または10月に入学または進学した者は2023年9月30日まで。

採否通知：2021年4月30日(予定)。本プログラムのウェブサイト上で発表する。

以上、所定の様式と最新のスケジュールについては、本プログラムのホームページ(URLは本要項末尾に記載)を参照のこと。

## 5. 修了要件および情報学副専攻認定要件

本コースを修了するためには、以下の条件を満たすことが必要である。

- 博士全課程において本プログラムの選択科目を6単位以上履修

本プログラムの選択科目は、情報学講義I～XX、知能社会講義I～XX、情報学演習I～X、知能社会演習I～Xから成り、各教育課程の具体的な科目と対応付けられる。情報理工学系研究科に在籍する者には情報学講義および情報学演習の単位は認めない。

- ・合宿を含む諸活動に参加

- 異分野インターンシップを遂行
- 知能社会創造プロジェクトを実践しその審査に合格

情報理工学系研究科と学際情報学府以外の教育課程に在籍し、情報学講義と情報学演習を併せて8単位以上取得し、諸分野と情報学の融合に関連する知能社会創造プロジェクトを遂行した者には、情報学副専攻(マイナー学位)を認定する。

## 6. 本プログラムに関する問い合わせ

GCL/IIW 事務局：

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 工学部8号館621号室 電話：03-5841-8746

E-mail (GCL/IIW 事務局学務担当) : gcl\_gakumu@gcl.i.u-tokyo.ac.jp

知能社会国際卓越プログラム ホームページ : <https://www.iw.i.u-tokyo.ac.jp/>

## 7. プログラム担当者

氏名	所属（研究科・専攻等）・職名
須田 礼仁	情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻・教授
萩谷 昌己	情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻・教授
鶴岡 慶雅	情報理工学系研究科電子情報学専攻・教授
中田 登志之	情報理工学系研究科ソーシャル ICT 研究センター・教授
江崎 浩	情報理工学系研究科創造情報学専攻・教授
成瀬 誠	情報理工学系研究科システム情報学専攻・教授
定兼 邦彦	情報理工学系研究科数理情報学専攻・教授
猿渡 洋	情報理工学系研究科システム情報学専攻・教授
伊庭 齐志	情報理工学系研究科電子情報学専攻・教授
稲葉 雅幸	情報理工学系研究科創造情報学専攻・教授
山口 利恵	情報理工学系研究科ソーシャル ICT 研究センター・特任准教授
Mhd IRVAN	情報理工学系研究科ソーシャル ICT 研究センター・特任助教
Tran Phuong Thao	情報理工学系研究科ソーシャル ICT 研究センター・特任助教
中尾 彰宏	学際情報学府学際情報学専攻・教授
苗村 健	学際情報学府学際情報学専攻・教授
工藤 和俊	学際情報学府学際情報学専攻・准教授
相田 仁	工学系研究科電気系工学専攻・教授
川原 圭博	工学系研究科電気系工学専攻・教授
大澤 幸生	工学系研究科システム創成学専攻・教授
和泉 潔	工学系研究科システム創成学専攻・教授
鳥海 不二夫	工学系研究科システム創成学専攻・准教授
松尾 泰	理学系研究科物理学専攻・教授
福嶋 健二	理学系研究科物理学専攻・教授
篠田 裕之	新領域創成科学研究科複雑理工学専攻・教授
下山 晴彦	教育学研究科総合教育科学専攻・教授
会田 茂樹	数理科学研究科・教授
芳賀 京子	人文社会系研究科次世代人文学開発センター・准教授
今井 健	医学系研究科社会医学専攻・准教授
小山 博史	医学系研究科公共健康医学専攻・教授
内山 真伸	薬学系研究科・教授
北川 大樹	薬学系研究科薬科学専攻・教授
大森 裕浩	経済学研究科・教授
川口 大司	公共政策大学院・教授
柳原 大	総合文化研究科広域科学専攻・教授
山口 泰	総合文化研究科広域科学専攻・教授
溝口 勝	農学生命科学研究科農学国際専攻・教授
飯田 秀総	法学政治学研究科・准教授